

長野県 公運協だより

第166号

発行所
長野県公民館運営協議会
長野市若里1-1-4
県立長野図書館内
電話 (026) 217-6256
FAX (026) 217-7015

教育文化施設である公民館とは



長野県公民館運営協議会
会長 松木 勝

長野県公民館運営協議会

会長 松木 勝

してきました。

民館大会の講演会で講師の平田オリザ氏は、「女性が帰ってきたくなる街づくり、若者が帰ってきたくなる魅力ある街づくり、文化の薫る街でないと選ばれない、教育文化施設の役割が公民館にある」と述べ、「文化による社会包摂」を説きました。公民館職員にとって、公民館活動に自信と誇りを持てるお話でした。「公民館は居場所と出番を創る場」です。自己有用感は充実した公民館活動につながる重要な要素になります。各公民館が立ち位置を確認し、喜ばれる活動を創造していけるようにと願い、県公運協の事業を推進

六月下旬、軽井沢町で公民館報関係者研修会が開催され、講演を通して公民館報の役割や読まれる文章の書き方等について意見交換をしました。

そして九月下旬、安曇野市で県公民館大会が開催されました。講演会は前述の通りです。分科会ではバスを使つての現地視察もあり、人気を博しました。

十一月下旬、長野市で公民館主

事研修会が開催されました。基調講演は「これからの公民館の役割」というお話で、QRコードを用いて参加者がその場で質問し、講師がその場で答えるというまるで学校の授業のような手法がとられ斬新でした。

公民館職員オンライン講座は年四回ありました。この講座はお互いの意見交換の場として定着してきています。テーマ「貸館」の回では営利企業の扱いが話題となり、後日の役員会では各自治体の現状について意見交換し、認識を深めました。

多くの公民館関係職員の皆様にご参加いただき、実りある研修を実施することができました。いずれの事業も企画・運営に携わっていただいた各地区関係者及び役員の皆様深く感謝申し上げます。

文化面に重きを置いた考えを展開してきましたが、地域には防災や自治といった別な面の課題もあります。今後もいろいろな形で学ぶ場を提供することにより、公民館職員が力量を高めていける公民館運営協議会でありたいと思えます。一年間、ありがとうございました。

主事研修会報告

長野市立朝陽公民館

係長 宮下匡弘

十一月二十日(木)、二十一日(金)

の二日間に渡り、長野市生涯学習センターにて開催された長野県公民館主事研修会が無事終了しました。本研修会には、県内各地から大勢の公民館職員が参加し、情報共有や意見交換を通じて公民館の役割について再考する貴重な機会となりました。



初日の基調講演では、信州大学学術研究院教育学系の島田英昭教授に

ご登壇いただき、情報技術の進化がもたらす学び方や働き方の変化を踏まえ、公民館が果たすべき役割について講演いただきました。講演中には、参加者からの質問をチャットで受け付けるという試みがなされ、特に若い職員の興味を

引き付け、リアルタイムでの質疑応答は講演内容への理解を深めるとともに、参加者と講師の連帯感を醸成する効果もありました。講演後には十五グループに分かれて分散会を実施し、島田教授の講演内容を踏まえて各公民館が抱える課題や今後の展望について活発な意見交換が行われました。

二日目は四つのテーマ（「行きたくなる公民館、ボッチャでつくる地域のつながり、住民が主役の公民館、対話を大切にする公民館」）に分かれた分科会を開催し、各分科会では、地域の特有な課題を基にした取り組み事例が発表され、参加者は熱心に耳を傾けて実践に取り組んでいました。発表された事例を参考に、自らの公民館における具体的な活用方法について、短時間ではありましたが検討して参加者の前で発表し、今後の公民館活動のヒントを掴んだ！という充実された顔で研修を終えて帰路に着かれました。

最後になりましたが、開催にあたり、会場の長野市生涯学習センターを始め、長野市家庭・地域学部の課、長野市立公民館連絡協議会と長野県公民館運営協議会の役

員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

ブロックニュース 東信

書初め教室の開催

小諸市公民館

主事 丸山 均

年の瀬も迫った昨年十二月末、小諸市公民館では、市内小中学生を対象とした「書初め教室」を開催しました。

昨今では生活環境の変化、特に家の広さや後片付け等の問題から「家で書道をする」事が難しく、

年末年始休暇の課題として書初めの書初めは、多くの家庭にとって悩みのタネと言えます。

こうした市民の実情への



提案、そして当公民館が進める若年層の利用促進、この両者に適合する企画として、今回新規に立ち上げました。

講師には「小諸書芸連盟」の皆さんをお招きし、書道家から小学生が直に指導を受けられる体制を整えました。また「学校の課題を仕上げる場」として扱う事に加え、年明けの慌ただしい時期ではなく年末に敢えて開催するなど、気軽に参加してもらえよう配慮しました。

結果参加希望は定員三十人を越える四十人程となり、当日は当館に大勢の児童生徒が集まる盛況なイベントとなりました。

参加者からの反応も好評で、特に「講師から完成した作品を即時品評してもらえ環境がより良い作品の作成に繋がった」との意見が寄せられました。

また、当市では年明けに「児童生徒新年書初め展」を開催しますが、今年も当教室に参加した児童の作品が顕著な成績を収めるなど、思わぬ成果も生じました。

社会の情勢や環境は目まぐるしく変容していますが、その中で公民館という施設をどう活用してい

くべきか、その思考を進める一端として大きな実りある企画になったと考えています。

リレーコラム

「長野県らしい公民館とは？」 ⑨③

シン・長野県らしい公民館

塩尻市中央公民館

館長 青柳 信雄

人口が減少し、市町村存続の危機が叫ばれる中、小中高生が地域に愛着をもてるような経験の充実若者や現役世代の公民館活動への参加は、どこの公民館にとっても課題の一つだと思います。塩尻市内の各公民館では「公民館育ちの子どもを増やしたい」「公民館の大きな役割は地域づくり」（市内館長さんの言葉）という思いがあり、様々な取組を進めています。

その一つが、公民館とコミュニティ・スクール（以下CS）、PTA等との連携協働による取組です。片丘公民館では「つながろう片丘」を合言葉にして、学校の開校記念の日に児童の学習発表会と地域の方々とのふれあいの時間、公民館主催のコンサートを行い、



「高校生とつくるたのしい思い出たいけん」
(サマースクール公民館)

子どもも大人も楽しい時間を過ごすことを通して片丘愛を育んでいきます。北小野公民館では公民館とCS、学校等が一体となって地域課題に取り組み、檜川公民館では公民館とCS、地域の協働による「なららクラブ」(放課後)を実施しています。公民館主事会と学校教育課が主催しているコミスク・公民館フェスタは、各地区の公民館と学校、CSの距離を縮める場になっていきます。

小中高生が公民館活動に参加する取組も行われています。宗賀公民館では小学生の夏休み学習広場に地元の中学生が企画し、自分たちが企画した講座を行いました。高出公民館では地元の高校生が小学生の楽しめるイベントを企画、

広丘公民館では高校生が小中学生に学習を教える場を設けています。吉田公民館や大門公民館、塩尻東公民館、洗馬公民館では、放課後バドミントン教室や学習広場などへの参加を通して、小学生が公民館に慣れ親しめるようにしています。

このように小中高生が、気軽に立ち寄れる、やりたいことがあったら行ける、地域の魅力ある多様な大人と出会える、自分が必要とされる経験ができる場所。そして、地域の大人も小中高生と共に学び、活動して地域づくりにつながる場所。それが、シン・長野県らしい公民館だと思えます。

ここに生きる

児童が講師の
シルク灯籠作り

長野市立七二会公民館
館長 高野光昭

七二会公民館では、令和5年度にシルク灯籠作り講座を始め、今年度で三年目を迎えました。

シルク灯籠は、木で作った枠に生糸を巻き付けて、そこに押し花や切り絵を貼り、もう一度生糸を巻き付け、中にライトを設置して出来上がります。



その繭から採れた生糸を使って児童が作ったシルク灯籠を地区の文化芸能祭で展示した縁により、小学校の先生に提案して講座の開催と児童に講師をお願いすることが決まりました。これは、常日頃から小学校と密接な関係を構築していた職員がいたことと養蚕の学習に力を入れていた先生を始め、小学校の全面的な協力があったからこそできたことです。

今後も、小学校と連携して、地域の特色を生かした学びの機会を作って行ければと思います。

記憶を伝えるために

伊那市西箕輪公民館
主事 大井船礼

昨年は戦後八十年という節目の年でした。メディアでも戦争を題材にした番組が目立ち、戦争や平和について考える機会の多かった一年でした。そんな中、西箕輪公民館では地域で起きた戦時中の出来事や体験談等を題材にした講演会「戦後八十年平和企画」を三回にわたり開催しました。

この講演会では地域で起きた戦



令和5年度講座風景
(左：講師の小学4年生、右：受講者)

七二会小学校の総合学習の時間に、当地区内で昔盛んだった養蚕について学習する一環で蚕を育て、

この講座の一番の特色は、七二会小学校の児童が講師を務めていることです。

初年度は、四年生の児童二人が講師となって、大人の受講生を相手に作り方を手取り足取り教えていただきました。



時中の出来事に焦点を当てました。「戦争の話」というと大きな犠牲があった出来事に目を向けてしまいがちですが、戦争の記憶は各地に眠っています。西箕輪で実際に起きた事を講師から学んだり実際に体験された方のお話を聞いたり、西箕輪の戦争の記憶を地域の方々と共に共有しました。

節目の年は過ぎましたが、戦争の記憶を地域の方々と共に伝えていくために、この活動を続けていきたいです。

県教委より

一年間ありがとうございました。

ございました。

今年度、生涯学習課では公民館を地域の「学び」と「つながり」の拠点として位置づけ、情報提供を通じて活動を支援してきました。公民館は、少子高齢化や若者の転出といった課題にも向き合い、地域の未来を共に創る場です。

今年度の公民館大会では「持続可能な地域づくりにつながる公民館活動について考えよう」がテーマとなり、その役割が改めて注目されました。

来年度は、女性や若者が活躍できる講座や交流の場づくりをさらに推進し、社会教育人材ネットワークの整備と活性化にも取り組まれます。また、公民館運営協議会と連携を深め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け、共に歩んでまいります。

(生涯学習課)

主任指導主事 篠原靖昌



令和八年度 県公運協事業予定

郡市公運協事務局長・主事会代表
合同会 (松本市松南地区公民館)

令和八年四月九日(木)
長野県公民館館長総会・研修会

(千曲市更埴文化会館)
令和八年五月十四日(木)

長野県公民館主事総会(書面開催)
令和八年五月十四日(木)

長野県公民館運営協議会定例総会
(松本市松南地区公民館)
令和八年五月二十一日(木)

公民館報関係者研修会
(飯田市県公民館)
令和八年六月二十日(土)

第七十四回長野県公民館大会
(須坂市文化会館他)
令和八年九月十七日(木)

第十八日(金)

第四十八回全国公民館研究集会

第六十五回関東甲信越静公民館
研究大会埼玉大会

(川越市 ウェスタ川越他)
令和八年十月一日(木)

二日(金)

長野県公民館主事研修会
(サン・アルプス大町)
令和八年十一月十九日(木)

二十日(金)

公民館職員オンライン講座
令和八年六月(四回開催予定)

令和7年度 公運協だより編集委員会		
ブロック	氏名	所属公民館
委員長	大蔵 邦之	安曇野市中央公民館係長
東	信内 藤 佐和子	上田市丸子公民館主事
中	信古 畑 千穂	塩尻市洗馬公民館係長
南	信大 井 船 礼	伊那市西箕輪公民館主事
北	信齊 藤 悠 真	野沢温泉村公民館主事

文部科学省 優良公民館表彰(長野県)

塩尻市中央公民館
豊丘村公民館

